

研究構想シート		学校名	大田市立長久小学校
		氏名	関野 淳也
A 研究主題 「つくる喜び みる楽しみ かかわる つながる 造形教育」 ～「確かな願い」をもった子どもの学習活動を生み出すために～			
B 研究の目的 長久小学校が考える深い学びのプロセスは、「確かな願い」をもった子どもの学習活動である。その学習活動を通して、わたしたちが育成したいと考えている4つの資質・能力「◎発想力・構想力、◎のびのびとした表現力、◎自分で試行錯誤する力、◎学び合う力」が伸びているかどうか、授業での評価基準を明確にして子どもたちをとらえながら有効な手立てについて検証する。			
C 子どもの実態  伸びてきていると感じる資質・能力 ◎発想力・構想力 ◎のびのびとした表現力  課題があると感じる ◎自分で試行錯誤する力  継続して取り組むべき ◎学び合う力	E 手立て・内容（研究仮説）		D めざす子どもの姿  ◎題材に対して自分なりの「確かな願い」をもって発想・構想し、 図画工作科の見方・考え方を働かせながらのびのびと表現したり、 試行錯誤しながらつくり、つくりかえたり、自分たちの作品や身近な作品の良さを見出したりしている姿
	F 検証方法		
	G 研究計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの実態をとらえ、授業のわくぐみを工夫することで、「確かな願い」をもった子どもの学習活動がうまれるであろう</li> <li>授業中の子どもをとらえ、効果的なはたらきかけを行うことで、「確かな願い」をもった子どもの学習活動を支えることができるであろう</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>評価基準から具体的な評価基準（子どもの姿）を明確にする</li> <li>授業中の子どもたちの姿や発言、ふりかえりや構想シートの記述などから、評価基準をもとに子どもを評価する</li> <li>年間を通した図工学習での子どもたちの評価の変遷を分析し、育成したい4つの資質・能力が伸びているかどうか確かめる</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業づくり→指導案検討会→授業実践・協議を1セットとして研究授業を行う</li> <li>1学期中に3・6年生で研究仮説を基にした研究授業を行い、成果と課題を見つける</li> <li>他の学年でも授業を行う際には全体に周知し、お互いに授業を見合いながら成果と課題を見つける</li> <li>1学期の実践での成果と課題を基に、夏休み中に11月の研究大会に向けた授業づくりと指導案検討を行う</li> <li>研究大会当日、研究の取り組みについて提案するとともに、公開授業と授業協議を通して、大会参加者からの意見をもとに、成果と課題をまとめる</li> </ul>	